

令和2年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	②	学校名	ろう学校
----	---	-----	------

1. 取組名 「第3回『地域ふれあい文化祭』」

2. 取組概要

・筒井地区社会福祉協議会健康づくり部会と協働し、地域ふれあい文化祭を企画し、本校演劇部が公演を行った。

・筒井地区社会福祉協議会健康づくり部会及び大和郡山市社会福祉協議会と連携をとり、筒井地区の地域の方々にチラシを配布した。

3. 特徴

・大和郡山市南部公民館を会場とし、地域の方々に来場していただいた。ろう学校や手話に関して地域の方々に知っていただくために、演劇部による手話パフォーマンスを披露し、本校卒業生でもある教員が「手話っておもしろいで」をテーマに講演を行った。来場者の事後アンケートを集約し、筒井地区社会福祉協議会健康づくり部会へアンケートや写真などを提供し、地域の活動報告に活用していただいた。

4. 成果、課題

・今年度はコロナ感染の影響により開催を危惧されたが、自治会長をはじめ、地域の方の強い要望があり、感染対策を講じながら、第3回地域ふれあい文化祭を開催することができ、昨年度同様、地域の方に大変喜んでいただいた。ろう学校のことや手話という言葉を知ってもらうよい機会になった。来年度も実施にむけ前向きに進めていきたい。地域の祭が中止になるなど、生徒会が中心による地域とつながる活動があまり実施ができなかった。次年度は持続可能な内容方法を検討しながら、生徒会活動の活性化を図りたい。

・地域との協働推進事業は、生徒指導部が中心になって企画運営に携わっている。教員間での地域との連携意識に差がある。この事業を継続するには、教員の積極的な姿勢が問われる。生徒会活動への位置づけと各学部と連携をはかりながら、校内での体制を見直し、児童生徒の規範意識の向上につなげていきたい。

5. 本事業による取組とコミュニティ・スクールの導入・推進との関わり

・高等学校新学習指導要領改訂に伴い特別活動の目標にかかげられている集団活動により集団や社会の一員として強調力や自己発信力が問われる中、特に生徒会活動や学校行事などで地域とつながる取組を持続実践できるよう特別活動の充実をはかりたい。

・本校は聴覚障害児のための県内で唯一の学校であるというセンター的な役割を担っている。そのために生徒指導部だけでなく、特別支援部や聴能部、進路指導部など他の分掌部や学部との連携をはかり、地域と連携する関係性を強化していきたい。

